第１回

道徳教育推進研究全国大会

式　次　第

一、開会挨拶　元東京都国立市教育長　石井昌浩氏

一、基調講演（10:15～11:00）
「人物の生き方に学ぶ道徳教育」　武蔵野大学教育学部教授　貝塚茂樹氏

一、実践提案①（11:10～12:00）
「小学校における人物資料の効果的な活用」　筑波大学附属小学校教諭　山田誠氏

＜　昼　休　み　12:00～13:00　＞

一、実践提案②（13:00～13:50）
「中学校における人物資料の効果的な活用」栃木県小山市立大谷東小学校校長　中山和彦氏
栃木県小山市立小山中学校教頭　飯嶋　治氏

一、実践提案③（14:00～14:50）
「美しい日本人の心を育てる道徳授業」　高知県中土佐町立上ノ加江中学校校長　天野順造氏

一、模擬授業（15:00～15:50）
「中学生に偉人をどう教えるか」　植草学園大学発達教育学部教授　野口芳宏氏

一、パネルディスカッション（16:00～16:50）
［テーマ］人物の伝記や実話資料を活用した道徳授業
［登壇者］山田誠氏・中山和彦氏・天野順造氏・野口芳宏氏　［コーディネーター］貝塚茂樹氏

一、閉会の辞

日時：平成 24 年 11 月 24 日（土）　10:00～17:00（受付　9:20～）
会場：六本木ヒルズ・ハリウッド大学院大学 10 階 103・104 号教室
（東京都港区六本木 6-4-1　六本木ヒルズ　ハリウッドビューティプラザ）

［主催］　道徳教育推進研究会（道推研）
［後援］　道徳教育をすすめる有識者の会　日本弘道会　モラロジー研究所　倫理研究所
全日本教職員連盟　日本教育文化研究所　日本教育新聞社　日本教育再生機構　育鵬社

[テーマ] 人物の伝記や実話資料を活用した道徳授業

開催趣旨　平成19年に教育基本法が改正され、[道徳]の学習指導要領では新たに、「先人の伝記、自然、伝統と文化、スポーツなどを題材とし、生徒（児童）が感動を覚えるような魅力的な教材の開発や活用を通して、生徒（児童）の発達の段階や特性等を考慮した創意工夫ある指導を行うこと。」が加えられた。そして、多様な教材を生かした創意工夫ある指導を行うことが一層重視された。
そこで本研究会では、児童・生徒が自分の生き方を問うための「型（モデル）」を見出せる「人物の生き方やエピソード」として、どのような資料が良いのか、また、そのような資料を使ってどう授業を行えるのか、基調講演や授業提案、そしてパネルディスカッションなどを通して掘り下げていきたい。

登壇者略歴

貝塚茂樹 武蔵野大学教育学部教授

国立教育政策研究所主任研究官などを経て、現職。専攻は、日本教育史・道徳教育論。著書に、『戦後教育改革と道徳教育問題』（日本図書センター）、『道徳教育の教科書』（学術出版会）、『教えることのすすめ―教師・道徳・愛国心』（明治図書）、『教育における「政治的中立」の誕生』（共著、ミネルヴァ書房）など。近刊に『道徳教育の取扱説明書』（学術出版会）、『文献資料集成　日本道徳教育論争史（全15巻）』（日本図書センター）。

山田誠 筑波大学附属小学校教諭

東京都公立小学校教諭を経て、現職。NHK道徳教育番組『時々迷々』、『道徳ドキュメント』番組委員を務める。著書に、『子どもの豊かさに培う共生・共創の学び（道徳）』（共著、東洋館出版社）、『NHK道徳ドキュメントモデル授業』（共編著、図書文化社）、『筑波発　道徳授業の改善』（共著、不味堂出版）、『実話をもとにした　道徳ノンフィクション資料集』（共編著、図書文化社）など。

中山和彦 栃木県小山市立大谷東小学校校長

栃木県小山市教育委員会指導主事、小山市立小学校長などを経て、現職。白鴎大学教育学部講師も務める。上廣倫理財団所属。栃木県総合教育センターで講師を務めるほか、栃木県の数々の小・中学校で道徳の授業提案、模範授業などを行っている。第14・17回上廣道徳教育賞優秀賞。

天野順造 高知県中土佐町立上ノ加江中学校校長

南国市立中学校教頭、高知県児童自立支援施設内分校教頭などを経て、現職。生徒指導上の諸問題を抱える中学校での道徳教育の考察を続けている。論文に、『生徒指導と道徳教育--規範意識の内面化を図るために』（日本道徳教育学会）など、著書に『ホリスティックな学校づくり　保護者への援助』（共著、明治図書）。

野口芳宏 植草学園大学発達教育学部教授

千葉大学附属小学校教諭、公立小学校教頭、校長を歴任、北海道教育大学教授などを経て、現職。千葉県教育委員。日本教育技術学会名誉会長、日本言語技術教育学会理事・副会長など。『野口流 授業の作法』（学陽書房）、『子どもは 授業で鍛える』『鍛える国語教室シリーズ』等（以上明治図書）、『小学生までに身につける子どもの作法』（PHP研究所）など。

第１回道徳教育推進研究全国大会　　平成 24 年 11 月 24 日
基調講演・レジュメ

人物の生き方に学ぶ道徳教育

貝塚　茂樹（武蔵野大学）

１．近代道徳教育史における「人物（伝記）主義」

（１）　徳目主義か人物(伝記)主義か

明治５年（1872）　「学制」頒布　　修身科の設置(翻訳教科書時代)

↓

徳育論争　　（儒教主義か近代市民倫理か、口授か教科書か）

↓

明治 23 年（1890）「教育ニ関スル勅語」渙発　（12 の徳目）（教育勅語解釈書時代）

＊「小学校教則大綱」（明治 24 年）「修身ハ教育ニ関スル勅語ノ旨趣ニ基キ…」（第２条）

○**徳目主義**⇒忠義、孝悌、友愛、仁慈、信愛、礼敬、義勇、恭倹の意味を毎年繰り返し教授する。
徳目を掲げて教材の性質を提示し、まれに応ずる訓言、格言、例話で教材を構成する。
徳目を定着させるために訓言、格言があり、例話は徳目に基づく行為のモデルとして、また徳目に帰納する事例として提示。所与の徳目に則って人は行為し、行為は徳目に還元される。

ヘルバルト学派教育学の流行　「教授の直接目的は興味を喚起するにあり」

↓

○人物（伝記）主義

「美事善行をなしたる人物を具体的に揚げ来り、其人は如何なる生立をなししか、如何なる生涯を送りしか、其辛酸艱難を嘗めし状と、其成功栄達の結果とを歴然明示し、その風采相貌に至るまで、眼前に躍如」（『単級　修身教授の実際　全』明治 24 年）させることは、児童が最上理想を認知し、実践に進むために大きな意義がある

↕　（対立と批判）

「修身科ヲ見ルコト、一場ノ茶話、軍団師・落語家ノ語ル所ト同一視シ、只管其興味ノ如何ヲ評スル」（峯是三郎『実験立案　修身教授及訓練法』）

＜天野貞祐の批判＞

「小学校や中学校では一般に修身教科書を用いて様々な徳目を解明し、日常の心得を教え、さらに解明を具体的ならしめんとして偉れた人々の言行を模範として述べている。教え方によってはこれも確かに徳育に資するであろう。しかし、それらはいずれも徳行の方式を教えるに過ぎない。模範的行為にしても多くは特別の場合におけるもので日常性に乏しい。模範というのはつねに理想化された模型たるに止まる。現実の生きた人間はそういう特別な場合に出合うことは容易になく、たとい出合ったとしても範型通りに行

動しては生きていけるか疑わしい。現実は不断に流動化している。各人の境遇はそれぞれの独異性を有する。時代を隔てた偉人の模範や徳目の解明を学ぶのは言わば水に入らずして水泳の型を習うに等しい。」（『道理の感覚』昭和 12 年）

ところが、実際は・・・・

＊「方法上の配慮によるものであり、徳目のシュガー・コートとして、また、徳目、格言、徳目にまで帰納＝誘導するための事例として例話が用いられるのであり、徳目自体の内容、道徳観の原理的転換ではない」（稲垣忠彦『明治教授理論史研究』）**→問題は、徳目主義と人物主義のバランス**

明治 36 年（1903）　国定教科書制度（基本は徳目主義と人物主義の折衷）

＜第一期国定教科書編纂趣意書＞

「諸徳ノ配当ニ関シテ人物ヲ基本トスル主義ト徳目ヲ基本トスル主義トアリ前者ハ模範的人物ヲ選ヒテ其伝記ヲ教材トナシ其間ニ適宜教訓ヲ加ヘントシ後者ハ授ケントスル徳目ヲ予メ選定シ之ヲ適応スル例話ヲ以テ教材トナサントス今此両者ノ損失ヲ考フルニ人物基本主義ニヨルトキハ児童ノ道徳的感情ヲ惹起スルニ利アレトモ或ハ児童ニ必要ナル心得ヲ脱漏スルノ虞アルノミナラス諸徳ヲ順序ヨク授クルコトヲ得ス徳目基本主義ニヨルトキハ必要ナル心得ヲ思フママ二授クルニ便ナレトモ児童ニ興味ヲ感セシムルコト少ナキノミナラス或ハ道徳的感情ヲ惹起スルニ不便ナル虞アリ」

↓

「修身科ハ児童ノ徳性ヲ涵養スルト共二其一ヲ偏廃スルベキニアラザルナリ」

↓

「本書（第一期国定教科書）ハ人物基本主義ト徳目基本主義トノ長短得失ヲ考へ両者ノ長所ヲ併セ取ルコトヲ務メタリサレハ徳目ニツキテハ徳目基本主義ニヨレルカ如クナレトモソノ内容ニツキテ見ルトキハ人物基本主義ニヨレル所多シ」

＜資料 1＞国定教科書（修身・国語）に登場した人物（偉人）

＜資料 2＞国定教科書（修身・国語）に登場した人物（偉人）と徳目

2．戦後の道徳教育と「人物主義」―バランスを欠いた徳目主義と人物主義―

（1）唐澤富太郎の指摘（『教科書の歴史―教科書と日本人の形成―』昭和 31 年）

・新教育は・・・日本社会の特殊性について顧慮は払われず、ただアメリカ教育の直輸入に終始してしまったのであった。従って、敗戦日本の将来を託する新教育でありながら、実は過去の日本についての深刻な反省もなければ、今後の具体的理想的人間像すら描き出すことも出来なかったものであった。

・戦後の日本は、戦時中の超国家主義・ミリタリズムの悪夢からの反動として、まず個人主義と世界主義が強く表面に現れて、日常生活の場である日本社会そのものには極端なまでに目を向けなかったのである。新教育においても、個と普遍の二つの原理が表面に強く働いていた。しかし、確立された個人を、日常生活の中において普遍的なるものと結び合わせながら生かして行く、その具体的な場については、余りにも顧慮がなされていなかったのではなかろうか。（中略）教科書に於いてもこの新教育の抽象的な批判が妥当する点もあるのであって、そこでは、公式的な民主主義が教えられ、歴史的社会的現実とし

ての日本の社会ではないところの、抽象的な社会が中心に据えられている。しかも、そうした社会像が教科書の全体を覆っていて、これを形成して行くべき人間像の面がはるかに希薄であった。そこに問題を批判し得ても、これを課題として担い解決していく人間を、十分に作り得なかったという批判が生まれてくるのである。

（2）道徳教材としての「人物主義」

①「新しい時代を拓く心を育てるために」

「現在の資料は、物語作品が多くを占めているが、その内容が子どもにとって結論の見え透いた空々しいものも少なくなく、例えば、実話を題材とするなど子どもたちに自分で考えることを促すようなものへと改善を図っていく必要がある。また、物語だけでなく、偉人の伝記等を再評価したり、名作、古典、随筆、民話、・・・・・・」

②『中学校学習指導要領解説　道徳編』

「先人の伝記には、多様な生き方が織り込まれ、生きる勇気や知恵などを感じることができるとともに、人間としての弱さを吐露する姿などにも接し、生きることの魅力や意味の深さについて考えを深めることができる」

③低調な偉人教材⇔ただし、郷土の人物資料開発は活発の傾向。

3．理想的人間像としての「人物主義」

(1)「徳目（価値）には感動しない、徳目を体現した人物の生き方に感動する」

・道徳性の核心は、善意志（よい意志）である。善意志なしては道徳性の涵養はありえない。善意志のない勇気は道徳性を阻害し、健康や財産なども善意志に裏打ちされなければ害悪となる。（天野貞祐）

・善意志を育てるのは、魅力的な人物への「憧れ」と「尊敬」と「共感」

・人物教材は「きっかけ」でもよいか→「１資料、１価値主義」の再検討、他領域との連携、人物教材他の教材との区別と役割分担、多時間扱いなど。

(2)「理想的人間像」の観点から人物教材を戦略的に構成する

・「戦後の教科書では、人間像を具体的に与える点において極めて抽象的であり、児童の心性に直截に訴えるようなものはまことに僅かであつた。その意味で戦後の教科書は、児童達に明確で印象的な人間像を与えることが出来なかったと言えるであろう。そこから、戦後は一切がただ社会の責任に帰せられ、個人はただ社会のメカニズムの中の歯車として考えられて、個人の力は社会の前には全く無力と感ぜられた。そして、ここに理想とすべき人間像を喪失した社会の悲劇があらわにされているのである。」

・「これらの人物といえども、一面いずれも時代の制約を受けている。われわれはその時代的制約を常に考慮に入れて、これを今後の積極的な歴史形成に生かしていくことが望ましいのである。（中略）人物を扱う場合、特に理想的人間像として描き出す場合においては、常にその人物がその時代に於いて如何なる歴史的推進の役割を演じたかという角度より究明し、その中から生けるものと死せるものとを弁別して、今後の歴史形成への契機として生かして行くという態度を取らなければならないのである」（唐澤富太郎）

資料１

国定修身教科書に登場頻数の多い人物

順位	人物名	課数	回数
1	明治天皇	19½	五
2	二宮金次郎	18	五
3	上杉鷹山	15	四
4	渡辺登	12	三
5	加藤清正	11	四
5	フランクリン	11	四
5	豊臣秀吉	10	四
7	乃木希典	9	四
8	貝原益軒	9	五
8	伊能忠敬	9	四
10	佐久太郎	8	四
11	高田屋嘉兵衛	7	五
11	中江藤樹	7	五
11	ナイチンゲール	7	四
14	楠木正成	6	五
15	天照大神	5⅚	四
16	北白川宮能久親王	5	五
16	ジェンナー	5	五
16	徳川光圀	5	四
16	昭憲皇太后	5	四
16	井上デン	5	四
21	鈴木今右衛門親子	4	四
21	おふさ	4	四
21	佐久間勉	4	四
21	木口小平	4	四
21	コロンブス	4	四
21	神武天皇	4	四
27	流鏑合の妻	3½	四

国定国語教科書に登場頻数の多い人物

順位	人物名	課数	回数
1	源義経	15	五
2	明治天皇	10	五
2	大国主命	10	五
4	水兵の母	7	五
4	豊臣秀吉	7	四
6	浦島太郎	6	五
6	乃木希典	6	四
6	楠木正行	6	四
6	花咲爺	6	四
10	神武天皇	5	五
10	日本武尊	5	五
10	天照大神	5	四
10	孔子	5	四
10	那須余一	5	四
10	東郷元帥	5	三
16	楽毅鳴尊	4	四
16	紫式部	4	四
16	源義家	4	四
16	広瀬中佐	4	四
16	桃太郎	4	四
16	松下禅尼	4	三
16	楠木正成	4	三
16	村上義光	4	三
16	山内一豊の妻	4	三
16	本居宣長	4	三
16	スティーブンソン	4	三

資料2

教科書に現われた人物と徳目

項目	主要人物
孝行	二宮金次郎　おふさ　上杉鷹山　渡辺登　楠正行（以上修身）万寿姫　養老の孝子（以上国語）
親の仇討	サルトカニ　曾我兄弟（国）
兄弟	二宮金次郎　渡辺登（修）
婦道	山内一豊の妻（馬ぞろへ）上毛野形名の妻（国）
勉学	新井白石　リンカーン　二宮金次郎　渡辺登　勝安芳（修）　塙保己一　リンカーン　紫式部　雪舟　関孝和　税所敦子（国）
規律	本居宣長　タゲッソー　フランクリン　渡辺登（修）
忍耐	木村重成　ネルソン　コロンブス（修）小野道風　張良と黄石公（国）
勇気・武勇	源義経（牛若丸・ひよどり越・源氏と平家）楽毅鳴琴（八岐のをろち）源頼光（大江山）源為朝　那須余一（扇の的）豊臣秀吉　桃太郎（国）加藤清正　木村重成　高田屋嘉兵衛　勝安芳　ソクラテス（修）　貝原益軒（修）
厳遵	勝安芳と西郷隆盛　豊臣秀吉（国）楠本左内（修）
自立自営	フランクリン　二宮金次郎　高田善右衛門　渋沢栄一（修）
倹約	松下禅尼（障子張り）（国）徳川光圀　上杉鷹山（修）
勤勉	二宮金次郎　フランクリン　高田善右衛門　伊能忠敬（修）五一おいさん　伊能忠敬（国）
発明・工夫	豊田佐吉（自動織機）コロンブス　ガリレオ（振子時計）ワット（蒸気機関の発明）スティーブンソン（汽車の発明）ベル（電話の発明）エジソン　幽工柿右衛門（柿の色）磯崎眠亀（花蕊）岡山の幸吉（飛行機の発明）（国）井上でん（修）
正直・誠実	ワシントン　リンカーン　おつな（忠実）乃木大将（清廉・至誠）（修）安倍川の袋夫　佐野源左衛門（鉢の木）老杜長（国）
修養・徳行	中江藤樹（修）孔子　孟子　藤原保昌（梅垂）（国）
健康	貝原益軒　伴僧友（修）
立志・立身出世	豊臣秀吉（木下藤吉郎）雪舟　一寸法師（国）
主君への忠誠	加藤清正　島居強右衛門　山中鹿介（三日月の影）松平信綱（武将の幼時）（国）
師弟	本居宣長（松阪の一夜）孔子と顔回（国）上杉鷹山（修）
信義	加藤清正　広瀬武夫（修）
責任	久田船長　佐久間艇長（修）久田船長（国）
公正	大岡忠相（大岡さばき）（国）
規則	松平定信　森日島　ソクラテス（修）
報恩	永田佐吉　弥兵衛　豊臣秀吉夫人　忠犬ハチ（修）シタキリスズメ（国）
博愛・慈悲	ナイチンゲール　和気広虫　鈴木今右衛門親子　瓜生岩　石井十次　宮古島の人々（修）グレース・ダーリング（遊合子の娘）ベートーベン（月光の曲）アレキサンダー・ブーシェ（辻音楽）鉄眼（鉄眼の一切経）瓜生岩　釈迦（修行者と鏃刺）ウラシマ太郎（国）
公益	フランクリン　佐太郎　鉄眼　角倉了以　栗田定之亟　古橋源六郎（修）　呉鳳　禅海（骨の洞門）　五兵衛（稲むらの火）岩松助右衛門（自洲避台）（国）
産業	上杉鷹山　徳川吉宗（修）
武士道	源義経（弓流し）八幡太郎義家　上杉謙信　游水宗治（ひとさしの舞）広瀬中佐（国）
忠義	木口小平　和気清麻呂　河野通有　楠木正成・正行　徳川光圀　谷村計介　広瀬中佐　橘中佐　小林稹　向後三四郎　加藤廻夫　特別攻撃隊（修）弟橘媛　田道間守　菅原道真　河野通有　草野次郎（神風）村上義光（錦の御旗）楠木正成・正行・正行の母（菊水の流れ）新田義貞（鎌倉攻）児島高徳　爆弾三勇士　水兵の母　一太郎の母　徳坤（君が代少年）（国）　広瀬中佐　東郷元帥（日本海海戦）

ミリタリズム

第１回道徳教育推進研究全国大会　実践提案①「小学校における人物資料の効果的な活用」追加資料

筑波大学附属小学校教諭　　山田　誠

道徳副読本における人物を取り上げた資料と授業展開

（「第３章　道徳」の
「第３指導計画の作成と内容の取扱い」の３）

（３）先人の伝記、自然、伝統と文化、スポーツなどを題材とし、児童が感動を覚えるような魅力的な教材の開発や活用を通して、児童の発達の段階や特性等を考慮した創意工夫ある指導を行うこと。

Ａ社副読本

１年生－０　２年生－０　３年生－２

４年生－６　５年生－１５　６年生－１７

合計　４０

※　授業展開は全て
「導入－展開前段－展開後段－終末」の４段階

※　登場人物の気持ちを場面毎に訊く発問がほとんど

Ｂ社副読本

１年生－０　２年生－１　３年生－２

４年生－２　５年生－８　６年生－１３

合計　２６

※　展開後段のない展開例が一つ

※　Ａ社に比べて、人物を取り上げた資料の数は少ないが、
登場人物の気持ちを訊かない発問の割合は高い

Ｃ社副読本

１年生－１　２年生－１　３年生－４

４年生－７　５年生－１０　６年生－１２

合計　３５

※　展開後段のない展開例が、かなりある

考察

Ａ社　授業展開が画一的

Ｂ社　授業展開が画一的だが、発問は多様

Ｃ社　授業展開も発問も多様

資料及び子どもたちの実態に
あった多様な授業展開が望ましい

人物を取り上げた資料による授業実践

資料

「なりたいものになるためにーある小学六年生の作文」

ねらい

・イチロー選手が小学６年生の時の作文を読み、
将来の夢や具体的な目標をもち、
自己の向上を図ろうとする心情を育てる

授業の実際

子どもたちが将来の夢や目標をもち、それに
向けて頑張るきっかけになるよう授業を試みた

発展学習として、
自分の将来の夢について調べることも有効である

キャリア教育

「イチロー選手が、自分の夢を実現できたのはなぜでしょう」

・うまくいかないことがあっても、自分の夢を
叶えるために強い意志を持って努力し続けたから。

・自分に自信をもち、プラス思考だったから。

・絶対にプロ野球選手になるという、
強い気持ちをもっていたから。

小学生時代のイチロー選手について、自分もまねしたいことはありますか

・３６５日中３６０日練習すること。
私はバレエを習っていて、現在ほぼ毎日練習しているから、
もう少し体力がついたら、ぜひイチローを見習ってみたい。

・イチロー選手は一つの目標を決めたら、
自分を信じて一所懸命努力するので、
自分を信じるところをまねしたいです。

「将来の夢や目標に対して、小学生時代のイチロー選手のまねをして、どのように努力したいと思いますか」

・将来の夢（目標）→犬の殺処分をなくす

「絶対に殺処分無しの制度を作る」という

強い意志を持ち、

「できないかもしれない」などとは思わず、

チャレンジする気持ちを大切にして頑張りたい。

「将来の夢や目標に対して、小学生時代のイチロー選手のまねをして、どのように努力したいと思いますか」

・将来の夢（目標）→バレリーナ

目標にする人を決めて、
その人に近づけるように全力で努力する。
絶対にあきらめないで毎日練習する。
ストレッチや簡単なバーレッスンでもよいから
毎日続けたい。
先生に一度注意されたことは、次から直す。
できないことがあってもふてくされず、
一所懸命先生の動きを真似しようと思う。
自分を夢に近づけてくれるのは、努力だと思う。

イチローと松井の比較

実力ではイチロー、人間性では松井

（発問）

もし自分がプロ野球選手だったら、
イチローと松井のどちらになりたいですか？

社会科担任のクラス（6年） イチロー（18人） 松井（19人）

理科担任のクラス （6年） イチロー（23人） 松井（14人）

イチローを支持する理由

・自分がメジャーリーグに行きたかったのだから
決まった時には、自分なら大いに喜びを表現したい。
スポーツ記者のくだらない質問に答えないのは
妥当だと思う。

・自分が嫌だと思ったことは、はっきり言った方がいい。

・プロ野球では、人間性より実力の方が大切である。
人間性がよくても、実力が伴わなければ意味がない。
ＷＢＣに出て日本のために活躍することは、大切。
少しくらい、人の悪口も言わなければ自分の気持ちを
伝えられないこともある。実際にメジャーリーグで
結果を残してるのはイチローだからイチローの方がよい
。

松井を支持する理由

・イチローは物凄い努力をしているが、
それよりも心の優しさの方が大切。
勉強は出来るけど意地悪な人より、勉強が出来なくても
親切な人の方がいいと思う。

・プロ野球選手としては、実力が大切だが
自分だったら、人間としてのマナーやルールを意識したい。

・イチローの努力は素晴らしいし、選手としては凄いと
思うが記者に対する態度からすると人間性が良くない。
だからイチローをスーパースターとは言えないと思う。
松井は、メジャーリーガーとしてはイチローより
少し劣るかもしれないが、人間性が素晴らしいので
自分だったら松井のようになりたいと思う。

道徳授業で
いじめについて考える

（『１３歳からの道徳教科書』
を活用）

大津市の中学校

平成２１年度・２２年度

文部科学省
「道徳教育研究事業」指定校

「いじめのない学校づくり」宣言

「自分のクラスでは
絶対にいじめは許さない」
という覚悟をもつ。

子どもたちは、親や教師の価値観を
敏感に感じ取る。

決意が先で方法は後

学校における授業の中で、
教材としていじめ問題を
取り上げることができるのは

道徳の授業だけ

小学校の副読本で
いじめを取り上げた資料は少ない

『わたしのいもうと』
（学校図書５年）

『葬式ごっこ』（８年後の証言）

⇩

『１３歳からの道徳教科書』(育鵬社)

１９８６年に中野富士見中で
いじめにより自殺した鹿川君の
同級生が、自殺から８年後に書いたもの

２５年後に大津市で
同じような事件が起きている。

学校・学級におけるいじめに
ついて具体的に考えさせる資料

（主な発問）

「葬式ごっこに対する
作者の態度で、いけなかったのは
どういうところだったと思いますか。
また、なぜ作者はそのような態度を
とったと思いますか」

1／2

子どもたち（小学校６年生）の考え

・彼にどれだけ心の傷を与えているのか
考えずに葬式ごっこに参加したこと。
自分がいじめられた経験が無駄になっている。

・作者は幼い頃いじめられていたので、みんなが
鹿川をいじめてるのに自分だけいじめなかったら
昔のようにそして鹿川のように、いじめられるの
ではと思い、自分がいじめられないため、自分を
強く見せるためにいじめていたのだと思う。

2／2

子どもたち（小学校６年生）の考え

・鹿川君から、こんなこと書いているじゃないかと言われた時に「うるせえ」と言ったのに鹿川君は失望したと思う。
作者は自分がいじめられないように、なめられないようにすることに必死で、鹿川君の気持ちを考えて行動することができなかったのだと思う。

・まず、葬式ごっこをすること自体だめだし、鹿川が自分に「てめえなんだよ・・・」と言った時に「うるせえ」という口答えはだめだと思う。でも、皆がやろうと言ったことに自分だけ仲間に入らないと今度は自分がいじめられるかと思うから

（主な発問）

「学校における

いじめがなくならないのは、

なぜだと思いますか」

1／2

子どもたち（小学校６年生）の考え

・いじめられてる人を助けようとすれば、助けた人がいじめられる。そういう悪循環がいじめがなくならない一つの原因だと思う。

・常に自分より下のヤツを、見下していじめてあざわらうことで、面白がったり、安心するのではないだろうか。そういう人が学校に一人はいてその人に従う人がいるから、いじめがなくならない。

2／2

子どもたち（小学校６年生）の考え

・鹿川君から、こんなこと書いているじゃないかと言われた時に「うるせえ」と言ったのに鹿川君は失望したと思う。
作者は自分がいじめられないように、なめられないようにすることに必死で、鹿川君の気持ちを考えて行動することができなかったのだと思う。

・まず、葬式ごっこをすること自体だめだし、鹿川が自分に「てめえなんだよ・・・」と言った時に「うるせえ」という口答えはだめだと思う。でも、皆がやろうと言ったことに自分だけ仲間に入らないと今度は自分がいじめられるかと思うから

（主な発問）

「学校における

いじめがなくならないのは、

なぜだと思いますか」

1／2

子どもたち（小学校６年生）の考え

・いじめられてる人を助けようとすれば、助けた人がいじめられる。そういう悪循環がいじめがなくならない一つの原因だと思う。

・常に自分より下のヤツを、見下していじめてあざわらうことで、面白がったり、安心するのではないだろうか。そういう人が学校に一人はいてその人に従う人がいるから、いじめがなくならない。

子どもたち（小学校６年生）の考え 2／2

・**いじめは、大勢でするものが多い。大勢でいじめを行っている場合、注意したり、やめさせたりしようとすると、今度は自分がいじめられると思い、行動に移せなくなるから。**

・もちろんいじめる人たちがいるからだけれど
いじめる人がもし数人いても、いじめはなくすことができる。周りにいる人たちがいじめに参加せずにいじめられている側についてあげるだけで
いじめる人たちは、いじめを実行できなくなる。

（主な発問）

「もし、いじめられてる人が
身近にいたら、どのように
接してあげたいと思いますか」

子どもたち（小学校６年生）の考え 1／2

・できるだけいじめられている人と仲良くしてあげたいが、もし、実際に自分のクラスでいじめがあったら自分はどうるすかわからない。

・いじめている人に「やめなよ」と言うことはできないかもしれない。
でも、いじめられてる人の話を聞いたり、本当の友達になってあげられればいいと思う。

子どもたち（小学校６年生）の考え 2／2

・自分がいじめられてることになってもいいからいじめないで普通に接してあげたい。
いじめられている人の心の支えになってあげたい。

・まず、いじめている人に注意する。
それでやめなければ親や先生に言う。
その後、自分にできるのはいじめられている人を必死に守ることとと、いじめられている人に優しく接することだと思う。
後は、大人が何とかしなければならない。

もし、いじめが現在行われているクラスだったら、いじめの加害者に対して

「葬式ごっこをされた鹿川君は、
どんな気持ちだったと思いますか」

「自分の子供が自殺した鹿川君の両親は、
どんな気持ちだったと思いますか」

と訊くこともできる。

いじめる子供には
Ａタイプとｂタイプがある。

Ａ－いじめられている子供がどれだけ傷ついてるか理解させることが効果的

Ｂ－いじめられてる子供がどれだけ傷ついているか訴えても効果がない。
人をいじめると自分が大きな損をするということをわからせることが効果的

ある中学校で、
いじめられている子供の
保護者が担任に訴えてもいじめが
おさまらなかった。しかし、
その保護者が警察に訴えることを
ほのめかしたところ、
いじめがおさまった。

人道にもとる残虐な行為は、
警察に通報することも必要。

「情報モラルの指導」のように「いじめの指導」も、

道徳の時間に資料を用いて指導する。

そのためには、「村に来た人たち」「葬式ごっこ」

のように、いじめについて深く考えることのできる

ノンフィクション資料の開発が必要

コラムの活用

『外国人も驚いた日本人の道徳』

・コラム『外国人も驚いた日本人の道徳』

・新聞記事『溶けゆく日本人』

昔の日本人と現代の日本人の違いに
ついて考えさせる

（主な発問）

「日本人はなぜ

変わってしまったのでしょう」

1／2

子どもの考え（６年生）

・親のしつけが甘くなった。一人っ子が
増えてわがままに育った。

・最初は一人が軽い気持ちでやったと思うけど
一人がやると、自分もやってもよいのかと
思う人がいる。そういう人が増えると
今まで当たり前だったルールが当たり前で
なくなっている。

2／2

子どもの考え（６年生）

・昔は自分より公という考えがあったが、
今は、自分さえよければいいと言う考え方が
増えてきた。また、経済が発展して
利益ばかり考えるようになった。

・文化が変わってきて他人との交流が
少なくなり他人を思いやることが
出来なくなってしまった。

（主な発問）

日本人はどうしたら

昔のような道徳性を

取り戻すことができると

思いますか

1／2

子どもの考え（６年生）

・家庭・学校・会社などで、いつも他人を思いやろうとすれば、自己中心的な考えは自然になくなり、昔の様な道徳性を取り戻すことができる。

・二世代ほど前の昔の道徳を知っている人たちとの交流をふやし。
昔の日本人の道徳を学ぶ

2／2

子どもの考え（６年生）

・自分がしていることをもう一度よく見つめ直して、本当に正しいのかどうか法律的にではなく道徳的に考える。

・決まりを破った人には罰金を請求する。

（主な発問）

「自分が今心がけていること

これから心がけたいことは

どんなことですか？」

1／2

子どもの考え（６年生）

・電車やバスの中でお年寄りに席を譲る、人が嫌がることをやるということを心がけている。
これからは、不正を起こさないように自分が気をつけるだけでなく、
誰かが不正なことをしようとしたら注意したい。

2／2

子どもの考え（６年生）

・今まで自分は自己中心的だったからこれからは、他人に気を配るようにする。

・私は人が見ていなくても落ちているものを拾って元の場所に置くようにしてる。
これからは、道徳心のない人がいたら気づかせてあげたい。子どものうちに教えることが大切だと思う。

今こそ、道徳の教科化

『１３歳からの道徳教科書』
をきっかけに
今度こそ道徳の教科化が
実現することを強く願う。

筑波大学附属小学校教諭　　山田　誠

イチローと松井の比較

部　年　番　名前(　　)

イチロー	松井
アメリカ行きの記者会見で、喜びを全身で表現した。	泣きそうな声で「ファンの皆様に申し訳ない」と謝った。
スポーツ記者のくだらない質問には答えない。	どんな質問にも丁寧に答える。どんな雑誌社でも、均等にインタビューを受ける。
過去２回ＷＢＣで日本チームのリーダーとして活躍。松井や星野を批判。	ＷＢＣには参加せず。人の悪口は言わない。
メジャーでも、日本と同じようにタイトルを獲り、活躍した。	メジャーではタイトルを獲れず、日本にいた時のような活躍はできなかった。

※実力ではイチロー、人間性では松井

◆もし自分がプロ野球選手だったら、イチローと松井のどちらになりたいですか。

（　）イチロー　　（　）松井

理由

2012. 11.24　於 ハリウッド大学院大学

第１回道徳教育推進研究全国大会提案資料

栃木県小山市立大谷東小学校長 中山和彦
同　　小山中学校教頭 飯嶋　治

中学校における人物資料の効果的な活用

１ はじめに

２　資料の意義

・道徳の時間では、学習指導の際に用いる教材を「資料」という。
・資料は、価値について児童・生徒の思考を深める素材としての役割、思考の基盤としての役割をもつ。
・資料中の人物や状況に即して自分を見つめ、自らの生き方を考える刺激剤としての機能をもつ。
・ねらいと学習者を結びつける媒体
・道徳資料はまさに素材＝material、つまり学習の素材であって、それだけで学習効果のあるものではない。完成品ではないということである。それをもとに（素材として）学習指導の中で道徳性の発達を促し、道徳的実践力育成のために指導者が活用するものである。

３ 道徳授業において常に求められてきた教材の充実・・・下記の背景があること

（１）学習指導要領改訂における道徳の時間改善の視点

> 「第３章　道徳」の第３の３
> （３） 先人の伝記、自然、伝統と文化、スポーツなどを題材とし、生徒が感動を覚えるような魅力的な教材の開発や活用を通して、生徒の発達の段階や特性等を考慮した創意工夫ある指導を行うこと。

（２）平成元年学習指導要領改訂
・第３の３「生徒の興味や関心をもつ教材を開発」

（３） 幼児期からの心の教育の在り方について（Ｈ１０　中教審）
・提言「子どもたちの心に響く教材を使おう」

（４）「教育を変える１７の提案」（教育改革国民会議）
・学校は道徳を教えることをためらわない。
・学校教育においては、伝統や文化を尊重するとともに、古典、哲学、歴史などの学習を重視する。

（５）教育再生会議第３次報告（平成１９年１２月）
・徳育の充実策を求め、「偉人伝、古典、物語、芸術・文化などを活用し感動を与える多様な教科書を作る」との表現で教材の充実を強調している。

３ 感動を与える魅力的な教材とは

（１）先人の伝記などの教材群の特性

ア　「先人の伝記」

人間の生き方が描かれ、生きる勇気や知恵、人間としての弱さなどが事実として描かれていて、私たちによりよく生きることの意味を問い掛けるものが多い。従来より道徳資料の主軸は伝記に取材したものであり、そこには迫力のある人間ドラマが見られる。

イ　「自然」

自然の偉大さ、生命観など感性に訴えるものが多い。それは、自然のもつ雄大さ、神秘さ、不可思議さ、そして生命をはぐくむ温かさなどがその中の一部である私たちに現実感をもって迫ってくるからである。

ウ　「伝統と文化」

その美しさ、それを生み出した人間の底知れない知恵、守り通した人間の生きざまなどが必ず織り込まれ、それらへの親愛の情を深く感じさせるものが多い。

エ　「スポーツ」

目標をもち志を高く挑戦する心を失わないアスリートの心が力強く表されている。そこでは、時に挫折したり苦悩したりする人間の心の動きもあり、日常から運動に力を込めている子どもの共感を呼び、心に響くものが多い。

これらに共通するのは、リアリティであり、感動性である。今回の改訂でこのような教材群が例示されたのは、児童生徒を心底から動かす力のある資料が今こそ嘱望されているからである。

（2）リアリティのある教材の選定と開発

リアリティとは、現実感があり、真に迫る事実が裏打ちされていることである。

・「青の洞門」

・「もうひとつの塔」

このようなリアリティのもつ追真性が、作り話でもなく、マイナスの意味での「道徳くささ」でもなく、掛け値なしの現実として正面からの生き方を問い掛ける。とりわけ生きることの意味を深く考えようとする高学年から中学校段階になるほど、そのような教材のよさを生かした授業を組むことが求められる。その際の着眼点を次のように考えている。

ア　多様なジャンルや表現形式、媒体などに着眼する

まず、伝記、論説、実録や実話などの多様なジャンルや形式に着眼する。それとともに、表現する媒体も多様に考えられるようになる。広く使われる読み物資料の他にも、写真や絵、実物、マンガ、動画などの映像、音楽や音声などの媒体がある。読み物を主軸としながらも、広く受け止める姿勢を大切にしていく。

イ　情報過多にせず、メリハリのあるものとする

道徳の資料となる教材は国語の教材文とは違う。読解力に大きく左右されるものには配慮が必要になる。また、資料を自作するとき、作者の思いや調べたことの情報であふれ、「伝えよう」「教えよう」という思いが先行し、細かく書き込みすぎないように注意する。重要なことは、起承転結などの展開が分かりやすいメリハリのあるものとし、取り上げる場面などを整理し、精選し、焦点化することである。

ウ　子どもが立ち止まりたくなる考えどころをつくる。

その上で、先人やアスリートなどのすごさ、超人性などとともに、弱さや悩みをも含みもつよう工夫する。そこでの迷いや葛藤が、子どもが自らを等身大に重ねて考え

る手掛かりとなる。また、そのような場面では、あえて詳しく表現せず、エアポケットのようにすると、子どもが自己の体験の中の思いを重ねて立ち止まる。そんな工夫の織り込みが効果的になる、

エ　真実性を大切にする資料としての配慮を欠かさない

さらに、リアリティを旨とした資料だからこそ特に配慮すべきことがある。それは、事実に忠実に依拠すること、それを演出して描くときはその旨を注記することである。また、人権にかかわる問題に心を配ったり、著作権や肖像権などに留意したりすることも忘れてはならない。

4 子どもから「近い資料」と「遠い資料」について考える

村上敏治氏（京都教育大学名誉教授は、『道徳教育の構造』（明治図書 1973）の中で、次のように書かれている。

『いわゆる児童生徒の生活上の「実態」と資料との関係からいうならば、主題および資料の内容が児童生徒の生活経験に近いと見えるものが、かえって遠く、遠いと見えるものが、かえって近い。』（181 頁）

身近な問題は考えやすいものの、かえって、些末な条件の違いや場面の違いなどにひきずられて発展的な思考を妨げてしまうことも多い。

逆に、子どもから「遠い資料」は、日常の利害などを超えて自己を自由に投影し思い切り考えを深められるよさがある。それらを対比するならば、次のようになる。

子どもに「近い資料」	子どもから「遠い資料」
・現実感がある。 ・生活に即した迷いや葛藤がある。 ・自分の生活体験に基づいた共感や自己投影が多い。 ・これからの生活の手がかりとなる。	・感動性が高い。 ・生き方への知見やあこがれを含む。 ・日常から少し離れた自由な自己投影が可能になる。 ・夢やあこがれが温められる。

道徳の時間は、まさに体験できないことを学級の全員で共通に追体験しながら考えを深める「心の体験」の時間である。その意味からも、子どもから「遠い資料」のよさを生かすことを忘れてはならない。

5　子どもから「遠い資料」と小・中学校の道徳の時間

『13 歳からの道徳教科書』に掲載されている資料は、子どもから「遠い資料」であり感動性や生き方への知見やあこがれを含むすばらしい内容となっている。これらの資料を小学校や中学校の授業でそのまま活用できるかどうかを検討する必要がある。

小・中学校では、道徳の時間の年間指導計画に沿って実施している道徳授業の資料については、子どもから「遠い資料」に指導の難しさを感じている教師が多い。その理由は、時代背景の理解、資料の表現の難しさ、長文の資料が比較的多い等である。

特に、児童生徒の読解力の個人差が大きくなっているという実態の中で、長文の資料を授業で取り上げる際の課題は大きいものがある。

また、資料そのものを検討する際に「小学校学習指導要領解説道徳編」（P 93　94）、「中学校学習指導要領解説道徳編」（P 98　99）の道徳の時間に用いられる教材の具備すべき要件を基にして検討する。

※中学校学習指導要領ｐ 98　教材の具備すべき要件
ア　人間尊重の精神にかなうもの
イ　ねらいを達成するのにふさわしいもの
ウ　生徒の興味や関心、発達の段階に応じたもの
エ　多様な価値観が引き出され深く考えることができるもの
オ　特定の価値観に偏しない中立的なもの

※更に次のような要件を具備する教材を選択するよう心掛ける。
ア　生徒の感性に訴え、感動を覚えるようなもの
イ　人間の弱さやもろさに向き合い生きる喜びや勇気を与えられるもの
ウ　生や死の問題、先人が残した生き方の知恵など人間としてよりよく生きることの意味を深く考えることができるもの
エ　体験活動や日常生活等を振り返り、道徳的価値の意義や大切さを考えることができるもの
オ　悩みや葛藤等の心の揺れ、人間関係の理解等の課題について深く考えることができるもの
カ　多様で発展的な学習活動を可能にするもの

また、解説道徳編（中学校）ｐ 100 の次の記述に注目する。

※そのためにも開発された教材については、その内容や形式等の特徴を押さえ、授業に資料として位置付けたとき、生徒がその内容をどのように受け止めるかを予想するなどして、提示の工夫、発問の仕方の工夫等を併せて検討しておくことが大切である。

６　中学校での授業事例（飯嶋）

７ おわりに

「１３歳からの道徳教育」を活用した道徳教育の充実　基本構想

１．授業を実践する際の難点。

（１）道徳の資料としては、文章が未完成である。他社の道徳の資料にある「山場」や「葛藤場面」、またそれらにふさわしいイラストが少ない。

（２）あらかじめ生徒に偉人の偉大さを理解させておくことで、偉人を取り上げる効果が高まる。そのためには、人物そのものに対する補助解説が必要である。

（３）資料が学習指導要領の内容項目順に並んでいるので、どの順に資料を扱うかは教師の裁量に任されている。

２．難点を克服するための方策　資料１　資料２　資料３

（１）資料を補うために、他の読み物資料やイラストを用意して生徒の理解を助ける。

（２）偉人の生涯や業績を補助資料（パワーポイントのスライド）で説明する。

（３）いくつかの資料をまとめた「ユニット」を構成する。今回の実践では、「大学」という古典を紹介し、その中にある修身－斉家－治国－平天下というベクトルに沿った授業を５時間単位で実施する。　資料４

	１時間目	大学素読	大学の道～その本乱れて
本時	２時間目	修身	馬子の正直　中江藤樹と熊沢蕃山
	３時間目	齋家	オフクロへの小遣い　　たけし
	４時間目	治国	日本の再建を目指して　盛田昭夫 天皇の祭祀
	５時間目	平天下	エルトゥールル号救出

4　馬子の正直――熊沢蕃山と中江藤樹

小山市立小山中学校　飯嶋　治

1　主　題　　誠から出た誠

2　本時の指導

(1) ねらい　　自主的に自分の生き方を考え、やろうと決めたことは誠実に実行することに生き甲斐や喜びを見いだそうとする態度を養う。

(2) 展　開

	学習活動と主な発問・期待する反応	教師の支援
導入	1　資料「中江藤樹と大学との出会い　一六一八年」の資料を読み、前時に学んだ「大学」について復習する。 ◇大学が偉人に大きな影響を与えたこと ◇栃木県の偉人二宮金次郎と近江聖人中江藤樹を紹介する。	・大学の読み下し文 ・教師が手短にまとめる ・中江藤樹と「大学」との出会いの資料にふれる。
A価値の追求・把握	2　今日は中江藤樹より11歳年下の弟子熊沢蕃山という武士の出会いの話から、「誠実に行動することの大切さ」について考えていきます。	
	3　熊沢蕃山の「おいたち」についてスライドで説明する。 ◇学問をせず16歳で岡山藩に仕える。 ◇20歳で岡山藩を去る　→　力不足を自覚 ◇21歳で師匠を求めて旅に出る	・蕃山の向学心に目をむけさせ、よりよい師を求めて国中を巡るという、蕃山の誠実な志に触れさせる。
	4　資料「馬子の正直」を読む。	・蕃山が自分を導いてくれる師匠を真剣に求めていたことをおさえる。
	5　蕃山は、なぜ自分の先生となる人を探していたのでしょうか。 ◇よりよい先生に巡り合うことで、自分の学問をもっと深めたいから。 ◇立派な人になるために、もっともっと勉学する必要があると考えたから。	
	6　（誠実な）馬子の話を聞いた蕃山が、中江藤樹に弟子入りしようと決めたときの気持ちを想像しましょう。 ◇誠実な馬子に立派な行動を教えた人だから、きっと素晴らしい人物に違いない。 ◇やっと聖人と言える人に出会え、天にも昇る気持ち。	・生涯の師に出会えた喜びを感じさせる。
	7　中心発問　蕃山は、藤樹の家の前で座り込んでいるときにどんなことを考えていたでしょう。 ◇絶対に弟子になる　◇あきらめない。　◇あの人のようになりたい　◇何日か通って、何度も頼んでみる。	・自分の予測した行動と、蕃山の行動を対比させ、蕃山の誠実さや、態度で示すという崇高な行動（力）に気づかせる。
B内面的自覚	8　今までに、あなたが（強い意志を持って）、誠実に行動できたことはありますか。	・ワークシートに書かせ、自分のこれまでの行為を振り返らせる。

終末	９ 中江藤樹の誠実な生き方が、馬子の誠実な生き方につながっている。このことを知った熊沢蕃山の誠実さに火がついたことで、その後半生の誠実な生き方につながっていく。熊沢蕃山の誠実な生き方は、その後２００年の時を越えて、藤田東湖、吉田松陰、山田方告、勝海舟らに大きな影響を与え、明治維新につながっていることにふれる。	・このように誠実な生き方が、誠実な生き方や行動を呼び覚まし、新しい時代つくられていく歴史に関心を持たせたい。

道徳ワークシート

馬子の正直 －熊沢蕃山と中江藤樹－

3年　組　　番　氏名

今日の道徳のねらい

自主的に考え、誠実に行動しようとする精神の大切さについて学ぼう

（１）熊沢蕃山は、なぜ自分の先生となる人を探していたのでしょうか。

（２）馬子の話を聞いた蕃山が、中江藤樹に弟子入りしようと決めた時の気持ちを想像しましょう。

（３）蕃山は、藤樹の家の前で座り込んでいるときにどんなことを考えていたでしょうか。

（４）今までに、あなたが強い意志をもって誠実に行動できたことはありますか。

（５）今日の授業の感想を書きましょう。

資料4

大　鏡

大鏡の淵源は、昔、世継、
繁樹、夏山、茂樹、
菜摘、重木、重山、有栖川
宮、重仁親王、
宣旨、讃岐、讃岐
典侍、侍従宰相
中将、通宗、
物語、水鳥、鵜飼、
狩、競馬、
詣、祭、祓、
清水、
初瀬、
御幸、
金峰山、
嵯峨、
野、
行幸、
御賀、
子日、
若菜、
臨時客、
臨時祭、
舞、
放生会、
法会、
相撲、
踏歌、
節会、
内宴、
除目、
叙位、
県召、
司召、
女叙位、
官奏、
奏慶、
朝覲行幸、
女踏歌、
賭弓、
射礼、
大饗、
穀断、
荷前、
固関、
列見、
定考、
灌仏、
仁王会、
最勝会、
御斎会、
修正、
修二月、
季御読経、
法華八講、
熾盛光、
孔雀経、
不動、
五壇、
普賢延命、
金剛童子、
薬師、
十講、
吉祥悔過、
最勝講、
仁和寺、
法勝寺、
円宗寺、
成勝寺、
延勝寺、
白河殿、
六勝寺、
得業、
探題、
方人、
講師、
読師、
堅義、
番論義、
竪者、
問者、
威儀師、
呪願、
唄、
散花、
錫杖、
梵音、
引頭、
教化、
咒師、
堂達、
導師、
呪師、
禄、
唐綾、
高麗錦、
甲、
冑、
弓、
胡簶、
平胡簶、
鞭、
蝙蝠、
扇、
日記、
宿直、
奏、
申文、
外記、
史、
弁、
少納言、
内記、
中書王、
上卿、
参議、
中納言、
大納言、
内大臣、
左大臣、
右大臣、
摂政、
関白、
太政大臣、
天皇、
院、
東宮、
中宮、
女院、
准后、
宣旨、
御匣殿、
別当、
尚侍、
典侍、
掌侍、
命婦、
女房、
蔵人、
五位、
六位、
殿上人、
地下、
上達部、
親王、
内親王、
女王、
源氏、
平氏、
藤氏、
橘氏、
伴氏、
在原氏、
紀氏、
菅原氏、
大江氏、
清和源氏、
村上源氏、
桓武平氏、
仁明平氏、
文徳平氏、
清和藤氏、
閑院藤氏、
宇多藤氏、
花山藤氏、
冷泉藤氏、
円融藤氏、
三条藤氏、
後一条藤氏、
後朱雀藤氏、
後冷泉藤氏、
後三条藤氏、
白河藤氏、
堀河藤氏、
鳥羽藤氏、
後白河藤氏、
二条藤氏、
六条藤氏、
高倉藤氏、
安徳藤氏、
後鳥羽藤氏、
土御門藤氏、
順徳藤氏、
仲恭藤氏、
後堀河藤氏、
四条藤氏、
後嵯峨藤氏、
後深草藤氏、
亀山藤氏、
後宇多藤氏、
伏見藤氏、
後伏見藤氏、
後二条藤氏、
花園藤氏、
後醍醐藤氏、
光厳藤氏、
後村上藤氏、
長慶藤氏、
後亀山藤氏、
後小松藤氏、
称光藤氏、
後花園藤氏、
後土御門藤氏、
後柏原藤氏、
後奈良藤氏、
正親町藤氏、
後陽成藤氏、
後水尾藤氏、
明正藤氏、
後光明藤氏、
後西藤氏、
霊元藤氏、
東山藤氏、
中御門藤氏、
桜町藤氏、
桃園藤氏、
後桜町藤氏、
後桃園藤氏、
光格藤氏、
仁孝藤氏、
孝明藤氏、
明治藤氏、
大正藤氏、
昭和藤氏、
平成藤氏、
令和藤氏、

世俗禪師俗禪師住世國王

國王住世以下略

世以外又以修慈人別

眠與又餘亦遊水

其水已遍水流相似

其流與相遍其流遍

相與水少不平

若無眾水

若無眾少以平

美しい日本人の心を育てる道徳授業

生徒指導と道徳教育

高知県高岡郡中土佐町立上ノ加江中学校
校長　天野順造

1．生徒指導主事として
　(1)　生徒指導からみた道徳授業は？
　(2)　ある女子生徒の一言
　(3)　管理的・対処療法的な指導の限界
　(4)　どうすれば心を育てられるのか？
　(5)　生徒指導の在り方とは
　　「嫌いな先生って」「信頼できる、尊敬できる先生って」
　　「個別指導と集団指導」「父性の指導と母性の指導」
　　「マズローの５段階欲求」

2．児童自立支援施設内分校の経験を通して
　(1)　施設を利用する子どもの背景
　　・虐待体験からくる自己否定　・間違った過保護と過干渉
　(2)　スーパーエゴを育てる
　　・フロイトの自我構造から
　(3)　モラルイメージを変えていく

3．道徳授業で育てる
　(1)　資料の選定
　(2)　発問を考える
　(3)　「13 歳からの道徳教科書」を使っての授業
　　・はかりしれない人間の大きさ　（1 年生）
　　・村に来た人たち　（2 年生）
　　・日本の再建を目指して　（3 年生）
　(4)　自問と内省

4．誇りと志を大切にした道徳授業
　(1)　郷土の偉人から学ぶ
　(2)　自尊心を育てる

おわりに

「道徳の時間の指導は教科指導のように何かを伝達することではなく、子どもの心の内にあるものを引き出すことである。 子どもの心のうちに抱いている考えや疑問を引き出し、人間の強さ気高さや弱さを一方的に偏らず出し合う中で、生徒自身の内にある良さへの憧れを勇気づけていくことである。その意味では、道徳の時間は教師主導の時間と言うより。子どもの発言(心）を聞く時間であり、教える時間というよりも、共に考える時間である。」（横山利弘先生より）

美しい日本人の心を育てる道徳授業

高知県高岡郡中土佐町上ノ加江中学校
校長　　天野順造

1
2012/11/19

生徒指導と道徳教育

1、生徒指導主事として

(1)生徒指導からみた道徳授業は
徳目を教えるだけでは？

(2)ある女子生徒の一言
「独りよがりの思いやりは、
教師の思い上がり」

2
2012/11/19

(3)管理的・対処療法的な指導の限界
（どうしてやることも出来ないむなしさ）

横山先生の言葉
「問題をおこす子どもの、心が見えていないのに育てる指導はできない」
「子どもの心を育てていかないと、
生徒指導の問題には取り組めない」

(4)どうすれば心を育てられるのか？
どうすれば自制する力をつけれるか
心の教育を道徳の授業の充実から

3
2012/11/19

「嫌いな先生って」

- えこひいきする。
- 公平でない怒り方・下手な怒り方。
- 授業が下手。
- 自分の間違いを謝らない。
- すぐに機嫌が変わる。
- 生徒を見下している。
- 意見をおしつけたり、決めつけたりする。
- いじめを解決しない。
- 体罰をする。
- 決めつけて怒る。ねちねち怒る。

4
2012/11/19

「信頼できる先生・尊敬できる先生って」

- きちんと誉め、きちんと怒ってくれた。
- 親身になって相談にのってくれた。
- 明るく情緒豊か。
- クラスの雰囲気づくりが上手。
- 一緒に遊んだり、運動したりしてくれた。
- 教え方が上手でわかりやすい。
- えこひいきしない、決めつけない。
- いじめに取り組んでくれた。
- けじめやメリハリがある。
- 配慮が細やかだった。

5
2012/11/19

(5)生徒指導の在り方
「信頼している先生、好きな先生の
いうことは、子どもは従う」

・生徒指導の上手な先生は
「全体指導の時は毅然と厳しい指導をするが、指導に筋が通っている。
しかし1対1の関係では、うっとりするぐらい好意に満ちた語りかけで生徒に接している。」

6
2012/11/19

《指導で子どもが傷つくとき》
- 子どもを疑い決めつけていう
- 責める、嫌みを言う
- 人格を否定し傷つける
- 自分の責任以外（家族、友だち）のこと

《好意に満ちた語りかけとは》
- 子どもを信じ言い分を聞き責めない
- Iメッセージで語る

生徒への問いかけは、
この原則を忘れない。

7
2012/11/19

①個別指導か集団指導か？
②父性の指導か母性の指導か？
を判断する。

その子の発達課題や現在の状況を知って、
今、何が必要なのか？
この段階ではどうすればよいか？
を考える。

そして「人としての在り方を語り、
人としての生き方を考えさせる」

8
2012/11/19

資料：子どもの発達課題や状態に応じた指導

9
2012/11/19

マズロー（Maslw）の五段階欲求

①生理的欲求
生命の維持にかかわるもので、食欲や睡眠など。

②安全の欲求
危険や恐怖を避け、安全で予測可能な状態にいたいと願う。

③愛（所属の欲求）
周りの人に愛されたいと思いであり、自分の所属している集団の中で、ある一つの地位を占めたいと思う気持ちである。

④承認の欲求
自分自身への認知と他者からの欲求に分けられ、前者は自尊心や自己肯定・尊重であり、後者は名声や地位・優越への欲求である。

⑤自己実現の欲求
自分が本来もっている潜在的な可能性を実現化しようとする欲求であり、未知なるものを知りたいと思う好奇心などもここに含まれる。

10
2012/11/19

2、児童自立支援施設内分校の経験を通して

(1)施設を利用する子どもの背景
①虐待体験（トラウマ）からくる自己否定
- 親から本来受けるべき時に受ける無償の愛を授かっていない
- 身も心もゆだねるような依存体験の欠如のため愛着行動が多い
- 愛し愛されたいという依存関係の強い欲求愛情欲求を満たしていく

11
2012/11/19

②間違った過保護や過干渉
- 自由と勝手しほうだいのはき違え
- 甘やかされすぎた、わがままな行動
- 強い自己主張と自己中心的な言動
- 多い他罰的な他者批判

他律から学ぶ経験不足（しつけの欠如）
他律(4～8歳)⇒社会律(9～13歳)⇒自律
地道に良心や道徳心を育てていく
自己を振り返る機会を多く持つ
人としての在り方や生き方について考える

12
2012/11/19

(2)スーパーエゴを育てる

フロイトの自我構造

イド　無我意識（感情、欲求、衝動）

エゴ　自我（自己意識）

スーパーエゴ　超自我

（良心や道徳心、倫理観）

・親や社会など環境から刷り込まれていく。
・育っていく過程で学習し身につけていく。
・衝動を抑える自制力となる。

そのスーパーエゴが貧弱になっていないか？

13
2012/11/19

(3)モラルイメージを変えていく

①子どもは自分の文化の標準をモデリングによって学ぶ。
②模写やあるいはモデリングは尊敬に基づいてる。
③社会に認められているような人をモデルとする。
④絵本や読み物から善なるものをイメージさせる。
⑤あこがれの存在を作る。

善なるモラルイメージを内面化させるため、

・良いモデルを多く提示していく。
・美しい心にたくさん触れさせる。
・日本の良い伝統文化を感じさせる。　など

14
2012/11/19

3、道徳授業で育てる

心が揺さぶられたときに、はじめて感動ある授業となる。人は、

①本物にであったとき
②苦難を乗り越え希望がみえたとき
③異質なもの出会ったり新たな発見があったとき
④勇気や元気がでてきたとき

などに感動を覚える。

価値ありきから人ありきの道徳の授業へ

15
2012/11/19

(1)資料の選定

①子どもの実態に即して、今、何を伝えたいのかを明確にして選ぶ。
②その人の生き方や在り方に、憧れたり共鳴することができるもの選ぶ。
③指導者が感動している資料を選ぶ
（資料に対する思い入れを大切に）

人としての生き様やあり方(姿勢)から学ぶ

※一つの資料には多くの主題となり得るものがあり、子どもの状態に応じて主題を選ぶ。同じ資料から主題を変えてみる。(ねらいや視点を変える)

2012/11/19

(2)発問を考える

資料を読むときに、行為ではなく人物の心の動きを中心に読みこんでいく。

①何を問うのか、今日の学びは何か？で発問を考える。
②資料の中で、一番子どもの気持ちを聞きたい部分を中心発問とする。
③資料の中のその人の生き方や在り方などに対する考えを聞く。
④なぜその行動をしたのかという、理由や心の動きを問い掛ける。

17
2012/11/19

- 分かりきった答えをある問いかけはしない。
  ※ 教師がしゃべりすぎない。結論を言わない。
  終末(まとめ)は子どもの言葉で締めくくる。
- 子どもに数多く喋らせる授業
  ※ みんなでこたえを考える
  隣の人や班で交流をしながら考える
- 子どもが発する言葉のうらにある心を理解する。
- 発問に対するこたえを想定しておく
  ※ 想定外のこたえやつぶやきを拾って、
  切り返しの発問に変える。
  資料から離れて、授業のねらいに迫る。

18
2012/11/19

- 下を向く授業
  資料からこたえを求めてしまう
- 前を向く授業（顔があがる）
  資料の読み込め理解できている
- 横を向く授業
  友だちとの意見交流が出来ている

いい授業は、
「は ひ ふ へ ほ」

19
2012/11/19

(3)「13歳からの道徳教科書」を使っての授業

《はかりしれない人間の大きさ》

発問

- 勝海舟は江戸城の明け渡しにあたっての会見で、西郷に対してどんなことを思っただろうか。
- 庄内藩の人たちは、どんな思いで涙を流して感動したのでしょうか。
- 尊敬されたり、多くの人が憧れる人とはどんな人だろうか。資料を読んでの感想を書いてください。

20
2012/11/19

《村に来た人たち》

発問

- 盗みとったモナカの皮を食べながら、どんなことを思い考えていたのだろうか？
- 母はどんな気持ちでお玉と接していたのだろうか。父はどんな思いで「お玉がきたよ」と呼びかけていたのだろうか。
- ハヤナイじいさんやお玉のその後の人生を想像してみよう。そして、筆者らが二人の人生に与えた影響を想像してみよう。

21
2012/11/19

《日本の再建を目指して》発問

- 名前を変えての商談のとき、盛田さんの顔がサッと曇ったのはなぜだろうか。また、SONYという会社名にどんな想いが込められているのだろうか。
  - 自分たちにとっての誇りでもある名前を捨てる事になるから
  - SONYという自分たちのブランドを有名にするつもりでいたのに、否定されて悔しかった。日本の誇りを捨てるぐらいなら売らない
  - SONYの名前をすてることはできない。外国で有名にしたかった。
  - これではSONYがSONYでなくなるのではないか。
  - あくまで日本のSONYという会社が作った日本の製品で売りたかったので、その名前を捨ててアメリカのブランド名で売るわけにはいかない。世界でも通用するブランドにしたい。 SONYの名前を捨てなくはなかった
  - いくら商談が成立しても、この名前を捨てる事などはできない。日本を元気にするためにアメリカにきたのだから、外国の会社の名前で売れても意味がない
  - どんなにお金をもらっても、自分たちが日本を再建しようと思って作ったSONYの名前は捨てられない。
  - 自分たちの夢や希望が詰っているSONYという名前は否定されたくない。SONYには日本を背負っている責任と誇りがある。
  - たとえ10万台売れたとしても、SONYで売らなければ日本再建などできない。

22
2012/11/19

- 日本の営業マンたちは、五番街に掲げられた日の丸をどんな思いで見ただろうか
  - 日本がやっとアメリカに認められた。日本の国旗がアメリカ国旗と並んではためいて、これで日本も世界に通用すると思った。
  - 日本がSONYという形になって海を越えてアメリカという大国に認められ成功し、自分たちも頑張ろうと思った。日本の成長に大きく貢献してくれた感謝の気持ち。
  - 日本という国が海外でやっと認められたんだと思った。
  - 日本が認められた、これで日本も元気になる。
  - ここで日の丸いがあがるとは思わなかった、すごい。俺たちも日の丸をあげたい。日の丸がついにアメリカであげられる日がきた。
  - 戦争に負けてボロボロに日本はなった。しかしその日本の会社が今はNYの5番街に店をオープンしている。日本の会社がアメリカに認められたんだ。
  - 自分の会社ではないが、日本というブランドが認められたように嬉しい。自分たちも日本を代表する会社になれるようにがんばろう。

23
2012/11/19

(4) 自問と内省

【ひとを動かす三つの方法】
「恐怖で追いたてる」
「利益で誘導する」
「愛情と信頼で導く」
「あめとむち」「損か得か」
では心は動かない

怖いだけ、得するだけなら、
その場しか通用しない。
心までは決して売らない。

24
2012/11/19

- その人の一生懸命の姿に心打たれる。
  先生が、私たちのために情熱を持ち、思いを込めて指導してくれたときに、信頼を感じる。
- あこがれの存在であるか？
  知識であれ、技能であれ、子どもがあこがれるだけのものを持っているか。
- 情と恕
  情＝こころ、感じ、気持ち、情け
  恕＝思いやり、人の身になる、ゆるす

25
2012/11/19

- 感情を言語化する
  理由を聞く前に、気持ちを共有する。
  「頑張れ」は、苦しいけど続けているときに励まされる言葉。
  希望がないときは、逆に苦痛となる。
  希望とは、苦しい中で光が見えるとき
- 自問する
  自分自身の心に問い掛ける場面
- 内省
  正直な自分の心をごまかさないこと

26
2012/11/19

4、誇りと志を大切にした道徳教育

日本を今一度、洗濯いたし申し候

27
2012/11/19

(1)郷土の偉人から学ぶ
龍馬先生や慎太郎先生のように
高い志や美しい生き方への
あこがれを創る。

(2)自尊心を育てる
身近なところから誇りを持たせる
ルーツや地域の学習の中から
誇りと自信を創る。

28
2012/11/19

おわりに　　（横山利弘先生の言葉）

「道徳の時間の指導は教科指導のように何かを伝達することではなく、子どもの心の内にあるものを引き出すことである。
子どもの心のうちに抱いている考えや疑問を引き出し、人間の強さ気高さや弱さを一方的に偏らず出し合う中で、生徒自身の内にある良さへの憧れを勇気づけていくことである。その意味では、道徳の時間は教師主導の時間と言うより。子どもの発言(心)を聞く時間であり、教える時間というよりも、共に考える時間である。」

29
2012/11/19

上ノ加江の美しい自然

30
2012/11/19

授業後の感想

■ はかりしれない人間の大きさ(１年生)

- 難しかったですが楽しかったです。
- 西郷隆盛のことがよく分かりすごい人だなと思った。
- 初めて知ったことや西郷さんの人柄などがよく分かった。
- 勝海舟や西郷隆盛などの歴史も分かり、なるほどと感心しました。
- ありがとうございました。違う人のことなども、またやってほしいです。
- 歴史のことをより深く知る事ができた。他の資料も読んでみたいと思った。
- 授業は緊張し、少し眠たくなったのですが、意味の深い授業でした。またお願いします。

■ 村に来た人たち（２年生）

- 最後の「人はなぜ人をいじめるのだろう。そもそも人間とは何者だろう」という部分は、やはり心に残ります。私は、いじめは自分が嫌いな人を自分が気に入るようにするためにする行為で、ただただ自分勝手な行動だと思います。人間とは何者か？難しくて私にはまだ分かりませんが、もう少しすれば分かりそうです。
- 子どもの時の心に残る失敗は大人になっても後悔するものだなと思った。この文を読んでそんな後悔をしないために、人をいじめたり悪いことをしないようにしていきたい。
- 自分が今までやってきたことを思い出して「なんであんなことをしたのだろう」と、後後することがたくさんあることは分かりました。
- 人生を変えるためには、後悔するぐらいの出来事ないとダメなのかなと思いました。人間とは何者かは一生考えても分からない。
- いじめられる人の気持ちが分かり、人が人をいじめるのは最悪なことと思った。
- 藤澤周平さんが二人にしたことを後悔していることが分かりました。僕は周りの人や雰囲気に流されないようにしたいです。
- 自分が小さな時にしてしまったことが大人になって後悔し自分の過ちに気付いたのだから良かったと思う。自分もそんなことをしないように気をつけたい。
- 藤沢周平さんは過去にした周りに流されてしまったいじめを後悔している。私は周りに流されずに善悪の判断をしていきたい。
- 子供の頃の軽い気持ちでしたいじめで、苦しみ悲しみしんどい思いをさせてしまったと思います。今は反省してその苦しみを少しは分かったと思います。悪い事をしてしまったら反省する事が大切で、その反省から次につながられると思います。
- 人にはそれぞれ大変な事があるのに、いじめてしまったり軽蔑したりするのは良くないと思った。私も集団に流されてしまうと思うけど精一杯流されないようにし、悪い事したと思ったら２度としないようにしたい。

■ 日本の再建を目指して（３年生）

- この時代の人たちは誰よりも本気だったということを感じた。
- 日本の企業として世界に通用しないといけないと思い、そのために頑張った。
- この資料を読んで今では日本で知らない人はいないＳＯＮＹの会社の誕生までには、こんな深い話があったんだと思いました。戦後の日本からこんな大きな会社を育てた実行力のある、すごい人だと思いました。
- 今でこそ日本の機械は有名だけれど、ここまでくるのにこのような苦労があったなんて。日本は誇れる国だな。
- 自分の会社の名前を捨てずに、あきらめないで頑張って成長させてすごいと思った。
- 日本を誇りに思い、日本のために自分できることをしようとする姿はすごいと思う。
- 日本のために何ができるかを考え、外国に否定されても日本をすてない姿。自分たちのＳＯＮＹというブランドで売らないと意味がないという強い意志。そして約束を本当に果たせたところがすごいと思った。
- 戦後の日本がまだバカにされているときに、日本を再建させようという思いを持ってアメリカに渡った盛田さんはすごいと思ったし、日本の誇りでもあると思いました。
- 日本人は外国に負けない技術力や根気強さ、掲げた目標を必ず達成するという誇りや責任感を感じる。今の日本があるのも少なからずＳＯＮＹの盛田さんのような人のおかげと思いました。自分もいつかは世界を相手に仕事したいと思います。

《はかりしれない人間の大きさ》<西郷隆盛>

名前［　１年生　］

○ **勝海舟は江戸城の明け渡しにあたっての会見で、西郷に対してどんなことを思っただろうか。？**

・頼もしく思う　・自分を信じてくれて嬉しい　・頼もしくて勇気がある
・自分は敵なのにどうしてこんなに礼儀正しいのだろう
・器の大きい人だ

○ 庄内藩の人たちは、どんな思いで涙を流して感動したのでしょうか。

・弟が殺されたのに恨みもせずに礼儀正しく接してくれてすごい。
・雄藩として扱ってくれ武器をそのまま保管されたしと言って信じてくれたから
・西郷さんは武器を返すなど器が大きいと感じたから

○ 尊敬されたり、多くの人が憧れる人とはどんな人だろうか。

・自分の意見をはっきり言える人　・人のことをよく考えてくれる人　・頑張る人
・心が広い人　・礼儀正しい人　・人助けをする人　・優しい人
・一生懸命に最後まで頑張る人　・人のことを真っ先に考えられる人
・自分のことを後回しにしてでも困っている人たちを助ける人

○ 資料を読んでの感想を書いてください。

・難しかったです楽しかったです。　・西郷隆盛のことがよく分かりすごい人だなと思った
・初めて知ったことや西郷さんの人柄などがよく分かった
・勝海舟や西郷隆盛などの歴史も分かり、なるほどと感心しました。
・ありがとうございました。違う人のことなども、またやってほしいです。
・歴史のことをより深く知る事ができた。他の資料も読んでみたいと思った。
・授業は緊張し、少し眠たくなったのですが、意味の深い授業でした。またお願いします。

《村に来た人たち　2年生》

○ 盗みとったモナカの皮を食べながら、どんな　ことを思い考えていたのだろうか？

・悪い事をしたと思いながら食べていた　・こんなことをして食べるもモナカはおいしくない
・ガキ大将についていかなければよかった　・本当はしてはいけないのにやってしまった
・誰かにばれたら嫌だから早く食べないと後悔している　・罪悪感で心が苦しい
・ごめんなさい、もうしたくないと思っている。・悪い事をしてしまった罪悪感でいっぱい
・悪い事をしたという思いでおいしく感じない　・割る事をした後のモナカはおいしくない
・見つからないだろうかとドキドキしながら、やらなければよかったと後悔している

○ 母はどんな気持ちでお玉と接していたのだろうか。父はどんな思いで「お玉がきたよ」と呼びかけていたのだろうか。

・かわいそうと思って同情していた　・自分たちも生活は厳しいけれど助けてあげたい
・どんなに汚れていても関係なく、周平には友達のように接して仲良くしなさいと思っている
・大変そうだだから少しでも力になりたい　・励まし助けてあげたい
・かわいそうだからお米をあげよう　・お玉と遊んであげなさい
・仲良くしてもらいたい　・お客さんがきたように普通に接していた

○ ハヤナイじいさんやお玉のその後の人生を想像してみよう。そして、筆者らが二人の人生に与えた影響を想像してみよう。

・二人とも子供を恨み続けた　・人が怖くなって、引きこもりになって人から逃げて暮らした
・襲われたことを忘れられず、ずっと怒っているし、お玉は怖くなって村には近寄らない
・二人とも子どもが怖くなり嫌いになった。・外へ出づらくなってしまった。
・人から逃げて暮らすようになった。・別の場所でアイスクリームを売っている
・とても傷つき、傷つけられたことを忘れられないまま、その後の人生を送ったと思う。
・ハヤナイじいさんはショックを受けてアイス売りをやめてしまった。
・お玉はあまり家から出られなくなった。・お玉は違う村でまたいじめられた。
・お玉は頑張って働いて母のように別の人を助けた。

○　授業(資料)の感想

- 最後の「人はなぜ人をいじめるのだろう。そもそも人間とは何者だろう」という部分は、やはり心に残ります。私は、いじめは自分が嫌いな人を自分が気に入るようにするためにする行為で、ただただ自分勝手な行動だと思います。人間とは何者か？難しくて私にはまだ分かりませんが、もう少しすれば分かりそうです。
- 子どもの時の心に残る失敗は大人になっても後悔するものだなと思った。この文を読んでそんな後悔をしないために、人をいじめたり悪いことをしないようにしていきたい。
- 自分が今までやってきたことを思い出して「なんであんなことをしたのだろう」と、後後することがたくさんあることは分かりました。人生を変えるためには、後悔するぐらいの出来事ないとダメなのかなと思いました。人間とは何者かは一生考えても分からない。
- いじめられる人の気持ちが分かり、人が人をいじめるのは最悪なことと思った。
- 藤澤周平さんが二人にしたことを後悔していることが分かりました。僕は周りの人や雰囲気に流されないようにしたいです。
- 自分が小さな時にしてしまったことが大人になって後悔し自分の過ちに気付いたのだから良かったと思う。自分もそんなことをしないように気をつけたい。
- 藤沢周平さんは過去にした周りに流されてしまったいじめを後悔している。私は周りに流されずに善悪の判断をしていきたい。
- 子供の頃の軽い気持ちでしたいじめで、苦しみ悲しみしんどい思いをさせてしまったと思います。今は反省してその苦しみを少しは分かったと思います。悪い事をしてしまったら反省する事が大切で、その反省から次につながられると思います。
- 人にはそれぞれ大変な事があるのに、いじめてしまったり軽蔑したりするのは良くないと思った。私も集団に流されてしまうと思うけど精一杯流されないようにし、悪い事したと思ったら２度としないようにしたい。

《日本の再建を目指して》<盛田昭夫>

名前［　3年生　］

○ 名前を変えての商談のとき、盛田さんの顔がサッと曇ったのはなぜだろうか。また、ＳＯＮＹという会社名にどんな想いが込められているのだろうか。　？

- 自分たちにとっての誇りでもある名前を捨てる事になるから
- ＳＯＮＹの名前を捨てなくはなかった
- ＳＯＮＹという自分たちのブランドを有名にするつもりでいたのに、否定されて悔しかった。
- ＳＯＮＹの名前をすてることはできない。外国で有名にしたかった。
- これではＳＯＮＹがＳＯＮＹでなくなるのではないか。
- あくまで日本のＳＯＮＹという会社が作った日本の製品で売りたかったので、その名前を捨ててアメリカのブランド名で売るわけにはいかない。世界でも通用するブランドにしたい。
- 日本の誇りを捨てるぐらいなら売らない
- いくら商談が成立しても、この名前を捨てる事などはできない。日本を元気にするためにアメリカにきたのだから、外国の会社の名前で売れても意味がない。
- どんなにお金をもらっても、自分たちが日本を再建しようと思って作ったＳＯＮＹの名前は捨てられない。
- 自分たちの夢や希望が詰っているＳＯＮＹという名前は否定されたくない。ＳＯＮＹには日本を背負っている責任と誇りがある。
- たとえ１０万台売れたとしても、ＳＯＮＹで売らなければ日本再建などできない。

○ 日本の営業マンたちは、五番街に掲げられた日の丸をどんな思いで見ただろうか。

- 日本がやっとアメリカに認められた
- 日本の国旗がアメリカ国旗と並んではためいて、これで日本も世界に通用すると思った。
- 日本がＳＯＮＹという形になって海を越えてアメリカという大国に認められ成功し、自分たちも頑張ろうと思った。日本の成長に大きく貢献してくれた感謝の気持ち。
- 日本という国が海外でやっと認められたんだと思った。
- 日本が認められた、これで日本も元気になる。
- ここで日の丸いがあがるとは思わなかった、すごい。俺たちも日の丸をあげたい。
- 日の丸がついにアメリカであげられる日がきた。
- 戦争に負けてボロボロに日本はなった。しかしその日本の会社が今はＮＹの５番街に店をオープンしている。日本の会社がアメリカに認められたんだ。
- 自分の会社ではないが、日本というブランドが認められたように嬉しい。自分たちも日本を代表する会社になれるようにがんばろう。

○ 日本人としての誇りや自覚とはなんだろうか。また、資料を読んでの感想も書いてください。

- この時代の人たちは誰よりも本気だったということを感じた。
- 日本の企業として世界に通用しないといけないと思い、そのために頑張った。
- この資料を読んで今では日本で知らない人はいないＳＯＮＹの会社の誕生までには、こんな深い話があったんだと思いました。戦後の日本からこんな大きな会社を育てた実行力のある、すごい人だと思いました。
- 今でこそ日本の機械は有名だけれど、ここまでくるのにこのような苦労があったなんて。日本は誇れる国だな。
- 自分の会社の名前を捨てずに、あきらめないで頑張って成長させてすごいと思った。
- 日本を誇りに思い、日本のために自分できることをしようとする姿はすごいと思う。
- 日本のために何ができるかを考え、外国に否定されても日本をすてない姿。自分たちのＳＯＮＹというブランドで売らないと意味がないという強い意志。そして約束を本当に果たせたところがすごいと思った。
- 戦後の日本がまだバカにされているときに、日本を債権させようという思いを持ってアメリカに渡った盛田さんはすごいと思ったし、日本の誇りでもあると思いました。
- 日本人は外国に負けない技術力や根気強さ、掲げた目標を必ず達成するという誇りや責任感を感じる。今の日本があるのも少なからずＳＯＮＹの盛田さんのような人のおかげと思いました。自分もいつかは世界を相手に仕事したいと思います。

模擬授業「中学生に偉人をどう教えるか」

植草学園大学発達教育学部教授　野口芳宏

＜メモ＞

13歳からの道徳教科書

道徳教育をすすめる有識者の会 編

■A5判並製292頁■定価1,200円(税込)

偉人が、名作が、教えてくれる〝大切なこと〟

吉田松陰
「今日よりぞ　おさなごころを　打ち捨てて……」

イチロー
「ぼくの夢は、一流のプロ野球選手になることです」

宮城県南三陸町中学一年生
「この震災は一生、忘れることはないだろう」

山口良治(伏見工ラグビー部総監督)
「何も感じないのか。112対0で負けたんだよ」

本田宗一郎
「人間関係の生じない仕事なんてありはしない」

マザー・テレサ
「豊かそうに見えるこの日本で、
心の飢えはないでしょうか」

ビートたけし
「人間苦労すると、やっぱり金が命なのかなと
ずーっと思っていた」

藤沢周平
「人はなぜ、人をいじめたりするのだろう」

…… 全37話を収録

道徳教育の一つの道は、私たちが「美しい」と感ずるような話を子供たちに伝えることではないかと思います。
健全な少年少女にとって、美しい、ためになる話は、同時に面白いのです。教室で偉人の話をすれば、子供たちの目は必ず輝くはずです。私たちは世界中の美しい話、いい話、そして特に日本人の行った素晴らしい話を子供たちに伝えるべきでしょう。
——まえがきより

道徳教育をすすめる有識者の会・代表世話人
上智大学名誉教授 **渡部昇一**

発行=育鵬社 発売=扶桑社

書店にてお買い求め、あるいはご注文ください。

（事務局）道徳教育推進研究会

〒105-0022　東京都港区海岸 1-15-1　株式会社育鵬社内

電話 03-3432-8681　　FAX 03-3432-8689

http://www. ikuhosha.co.jp/